

エコアクション21

環境経営レポート

2023年10月～2024年 9月

第51期



2024年11月30日

北 株式会社 北 原 組

目 次

1.	会社概要	1
2.	環境経営方針	2
3.	実施体制	3
4.	環境経営目標	4
5.	環境経営計画	5
6.	環境活動の取組結果と評価	6
7.	環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
8.	代表者による全体取組状況の評価及び見直しの結果・指示	10

1. 会 社 概 要

1) 会 社 名 株式会社 北原組

2) 代表者名 代表取締役 北原裕一

3) 所 在 地 〒384-1101
事 務 所 長野県南佐久郡小海町大字東馬流3963番地
土 場 長野県南佐久郡小海町大字東馬流4060-3番地
資 材 置 場 長野県南佐久郡小海町大字東馬流4132番地

4) 事業内容 ・建設業〔 土木、とび・土工、石工、管、鋼構造物、舗装、
しゅんせつ、塗装、水道施設、解体工事業 〕
・売電事業

5) 事業規模

創 立 年 月 日	1915年11月
設 立 年 月 日	1974年4月
資 本 金	4,000万円
売 上 高	14,793万円(2024年 9月)
従 業 員 数	9名
床 面 積	138.16㎡ 51.84㎡

6) 環境管理責任者 北原 富美子
(連 絡 先) TEL 0267-92-2064
 FAX 0267-92-4403
 E-mail info@kitaharagumi100.co.jp

2.環境経営方針

基本理念

株式会社北原組は、地球環境の現状を深く認識し、社業である建設(土木)工事の事業活動において、より環境に負担を与えない意識を持続させ、継続的な環境保全活動に取り組めます。

活動方針

- 1.当社事業に係る、環境関連法規を遵守し、業務を適正かつ完全に行います。
- 2.環境負荷の低減のため、以下の改善に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量の削減。
 - ②産業廃棄物・一般廃棄物の排出削減とリサイクル率の向上。
 - ③節電に積極的に取り組む。
 - ④環境に配慮した製品の提供の推進。
 - ⑤自然資源(太陽光)の有効活用。
- 3.全社員に環境保全活動に対する認識の教育を徹底し、環境保全意識の改善と向上に努めます。
- 4.環境保全目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
- 5.環境経営方針は、社外に公表し、地域での環境保全活動にも貢献します。

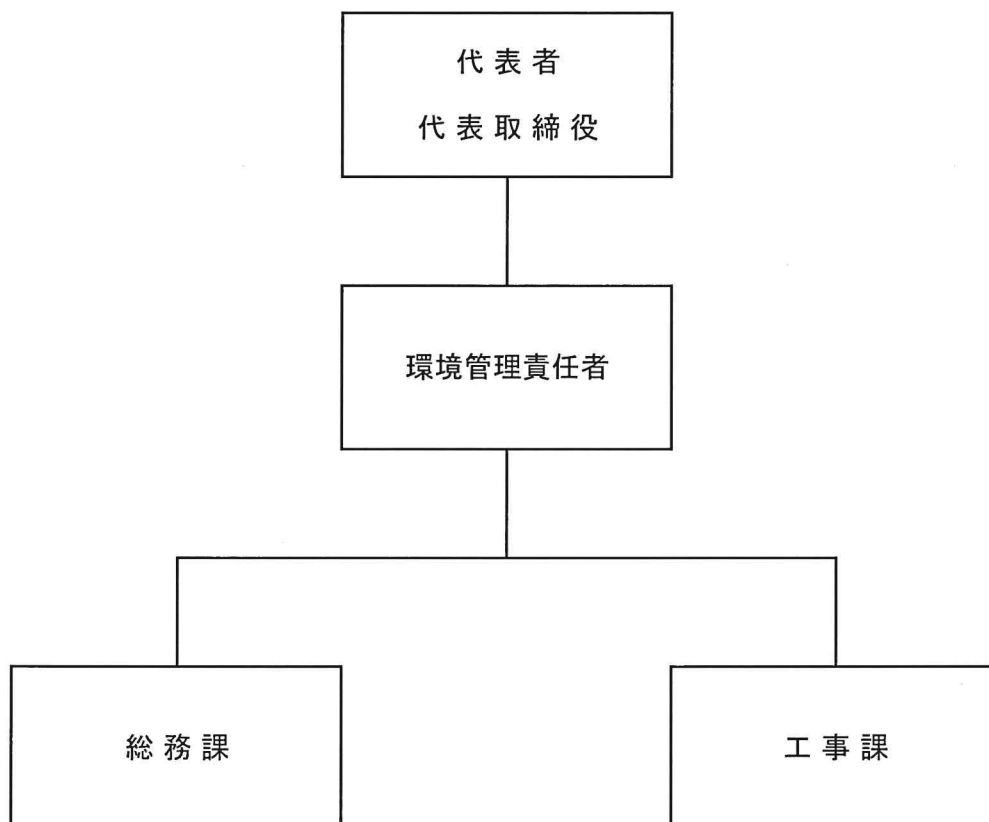
制定日 2009年12月15日

改定日 2022年11月28日

株式会社 北 原 組

代表取締役 北原 裕一

3.実施体制



	役割(責任・権限)
代表者	・環境経営に関する総括責任 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知徹底 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・経営資源の配分
環境管理責任者	・環境経営システムを構築、実施、管理 ・法規制等の取りまとめ及び遵守評価の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境経営の取り組み結果を代表者に報告 ・環境経営の実施集計 ・環境コミュニケーションの受付窓口 ・問題点の発見、是正、予防処理
各課責任者	・環境管理責任者の下、必要な計画、指示、指導、教育及び訓練の実施 ・各項目の問題点の発見、是正、予防処置を環境管理責任者に報告
全従業員	・環境経営方針を理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標（中長期）

10月～9月

項 目		単 位	基準値51期 (2023.10～ 2024.9)	52期目標 (2024.10～ 2025.9)	53期目標 (2025.10～ 2026.9)	54期目標 (2026.10～ 2027.9)
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	58,744	58,157	57,569	56,982
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電力	kWh	10,888	10,779	10,670	10,561
	ガソリン	ℓ	8,264	8,181	8,099	8,016
	軽油	ℓ	12,972	12,842	12,713	12,583
	灯油	ℓ	575	569	564	558
	LPG	kg	29	29	28	28
	産業廃棄物	kg	417,446	413,272	409,097	404,923
	一般廃棄物	kg	491.92	現状維持		
	水使用量	m³	85	現状維持		

中部電力(株) 2023年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.421kg-CO2/kWhを使用

5. 環境経営計画

基本方針

- ①二酸化炭素排出量の削減 ②産業廃棄物・一般廃棄物の排出削減とリサイクル率の向上 ③節電に積極的に取り組む
④環境に配慮した製品の提供の推進 ⑤自然資源(太陽光)の有効活用

消費電力の削減	
1	不在時、昼休憩時は消灯する。
2	終業時、電子機器のコンセントを抜く。
3	ハイブリッド節電の機能を利用し、クール・ウォームビズの実施。
4	足元のヒーターをこまめに調節する。
5	現場でのソーラー信号機等の使用。

ガソリン使用量の削減	
1	急発進・急ブレーキ・急加速をしない。
2	不要なアイドリングのストップ。
3	現場等への乗り合わせ。
4	運転日誌をつける。

廃棄物の削減	
1	コピー用紙の裏紙使用。プレビューを使用しミスコピーの防止。
2	資源ごみの分別、リサイクルの実施。
3	古紙リサイクルステーションへの持ち込みによる再生品への交換。

環境関連法規・条例の遵守	
1	環境関連法規・条例の違反をしない。

生産製品の環境配慮	
1	工事評点の向上。
1.1	環境提案の推進。
1.2	地域への環境貢献度の維持。
1.3	顧客苦情のO化継続。

再生可能エネルギー発電の活用	
1	北原組倉庫太陽光の発電をチェックし、発電量の記録をする。

6. 環境活動の取組結果と評価

(1) 取組結果

取組項目 (事務所・現場)	基準値	環境目標	実績値	評価	取組結果
	49期 (2021.10～2022.9)	51期 (2023.10～2024.9)	51期 (2023.10～2024.9)	51期 (2023.10～2024.9)	今後の方針・次年度の取り組み
CO ₂ 排出量の削減 (円/kg-CO ₂)	1,901 (百万円/kg-CO ₂)	1,939	2,519	○	取組結果 ・目標はクリアできた 今後の方針・次年度の取り組み ・主電源を切る、コンセントを抜く、アイドリングストップなど、節電や環境に配慮した行動を改めて心がける
	149,820 CO ₂ 総排出量の実績 (Kg-CO ₂)	146,824	58,744	○	
電気使用量削減(kWh)	12,149	11,906	10,888	○	取組結果 ・エアコンの使用頻度が高い夏前に、業者にメンテナンスを依頼したことでエアコンの効きが良くなり、短時間で設定温度まで下げることができた 今後の方針・次年度の取り組み ・エアコンと扇風機を同時に利用することによって、さらに冷房効率を上げる
ガソリン使用量削減 (円/ℓ)	17,500	17,850	17,909	○	取組結果 ・昨年度より工事件数は増えていたが、使用量を削減することができ、運転日誌の活用や日々の心がけにより、目標値を達成できた 今後の方針・次年度の取り組み ・少しの移動距離であれば、車を使用せず歩いて移動する。
軽油使用量削減 (円/ℓ)	7,619	7,771	11,409	○	
灯油使用量削減 (円/ℓ)	112,730	114,985	257,391	○	今後の方針・次年度の取り組み ・発電機などこまめに電源を切ることによって使用量を削減する
LPG使用量削減(kg)	78.00	76	29	○	
一般廃棄物排出量削減(kg)	771.00	現状維持	491.92	○	取組結果 ・可燃ごみと資源ごみの分別を徹底した 今後の方針・次年度の取り組み ・次年度もごみの分別を継続していく ・全従業員が取り組めるように定例会議で分別方法を周知していく
産業廃棄物排出量削減(円/kg)	335.47	342.18	354.54	○	
水使用量削減(m ³)	77	現状維持	85	△	取組結果 ・目標値を超えてしまったが、想定より工事件数が増えたことによるため、評価を△にした 今後の方針・次年度の取り組み ・不必要な水出しはせず、また、目標値の精度を上げて来期は目標値を達成する
生産製品の環境配慮 工事評価の向上(点)	80点以上	80点以上	81点 86点	○	取組結果 ・対象工事が2件、目標点を達成できた 今後の方針・次年度の取り組み ・来期も引き続き、今期以上の得点が取れるよう精進する
国有林					
生産製品の環境配慮 工事評価の向上(点)	82点以上	82点以上			対象工事がなかった

※49期を基準値とした

※中部電力株式会社 2023年度二酸化炭素調整後排出係数 0.421(kg-CO₂/kWh)を使用

※1年単位で総量での比較が難しいため売上対比で表した

※売上対比は、売上高/取組項目の環境負荷、売上高/使用量

※電気使用量・一般廃棄物排出量・水使用量は使用量で表示し、LPGは総量で表示

(2) 取組状況と成果(51期)

【グリーンカーテン】総務課事務所 ホップ 工事課事務所 ささぎ



・総務課事務所にホップ、工事課事務所にはささぎを栽培した。
ささぎは驚くほど実り、収穫を行い従業員へ配ったが、ホップは残念な結果となった。

【菊栽培】



1.前年度の鉢植えから、今年度用の菊苗をつくるための準備に取り掛かる。

2.芽差しをするためのポットの準備風景。

3.鉢に植え替えをして満開に咲くのを待つばかり。

《現場における環境管理・安全管理》



- ・万が一の時に迅速な対応ができるように、持ち運びしやすい油処理キットを購入した。
- ・国有林内への外来植物を持ち込まないために、現場入口と現場事務所入口へ靴洗い場を設けた。
- ・3R、ゴミ分別については、現場事務所に掲示し全員に周知した。

【事務所内エアコン掃除】



【工事課事務所内エアコン掃除】



・年末に従業員で掃除はしていたが、今回はクリーニング業者に依頼し、本格的に掃除していただいた。メンテナンスをすることで電気代に変化があるのではないかと考えている。

【ボランティア道路清掃】



・地域貢献の一環として全従業員による道路清掃。道路脇や側溝に溜まった土砂や落ち葉、ゴミ、空き缶などを片付けた。
・回収した土砂、落ち葉は軽トラックで13台分、拾ったゴミや空き缶も種類別に分別を行った。

7. 環境関連法規等(要求事項の確認と遵守方法)

主な適用法規	要求事項	対 応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	・産業廃棄物掲示板設置 ・業務委託契約 ・委託業者の許可有効期限の確認 ・マニフェストの保管 ・収集運搬車両の許可明示 ・一般廃棄物処理の協力	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材の再利用・再資源化	・工事着手前の計画等の届出 ・周知徹底の確認	遵守
河川法	河川工事同意書の提出	・届出書の確認と現場監視	遵守
騒音規制法	適用指定地域での届出	・規制基準の遵守	遵守
振動規制法	適用指定地域での届出	・規制基準の遵守	遵守
道路交通法	所轄警察署長への許可申請	・届出書の確認	遵守
家電リサイクル法 小型家電リサイクル法	廃棄物の適正な処理 資源の有効的な利用の確保	・小売店へ料金を支払い引き渡す 又は ・自治体指定の方法で引き取り 依頼をする	該当なし
自然公園法	国民の保健、休養及び 教化に資するとともに、 生物の多様性の確保に 寄与すること	・第3次規制(リース)機材 ・低騒音重機等使用 ・水質汚染防止 ・道路汚損の留意、現場外への持出 ・土砂の持ち出しをしない ・作業員への周知	該当なし

※2024年 9月27日環境関連法規の違反が無いことを北原環境管理責任者が確認しました。
関係当局からの違反・訴訟に関する指摘、工事現場における苦情は、過去3年間ありません。

代表者による全体取組状況の評価及び見直しの結果・指示

評価実施時期 2024年 9月30日

実施者 代表取締役 北原裕一

(管理責任者の報告)

①[目標・環境経営計画の達成状況]

目標項目	目標値	環境活動	コメント
	達成状況	達成状況	
CO2排出量の削減	○	○	目標クリア。取り組みの継続を実施。
電気使用量削減	○	○	年間電気量の減少。エアコンのクリーニング。
燃料使用量削減	○	○	エコ運転の成果があり。活用の継続。
一般廃棄物排出量削減	○	○	正しい分別が、排出量減少につながる。
産業廃棄物排出量削減	○	○	現場の工種によるものではあるが、意識向上。
水使用量削減	×	△	融雪剤散布車の洗浄が課題。
生産製品の環境配慮(国有林)	○	○	対象工事2件。目標達成。
生産製品の環境配慮(県)	—	—	対象工事なし。

②売電電力量 31,629kWh/2023年10月～2024年 9月

(管理責任者のコメント・提案)

◎エアコンのクリーニングを業者に頼み実施。年間電気使用量の削減に効果があったと思われる。
温暖化による、気温上昇が見込まれるので、冷房効率を上げる工夫を考える。

【代表者の提案への必要性の有無・指示事項】

必要性: (有) 無

指示事項: エアコンのクリーニングの実施継続。
エアコンの設定温度の見直し。(夏季・冬季ともに)

【代表者の環境経営方針、目標・計画、実施体制の見直しへの必要性の有無・指示事項】

必要性: 有 (無)

◎今期は、環境への取り組みの自己チェックを、事務担当者にしてもらった。違う視点からの考察も参考になるので、また違う従業員のチェックも今後考えたい。

【代表者の提案への必要性の有無・指示事項】

必要性: (有) 無

指示事項: 事務と現場での、自己チェックの違いも考慮してみたい。

【代表者の環境経営方針、目標・計画、実施体制の見直しへの必要性の有無・指示事項】

必要性: 有 (無)

評価及び見直しの結果・指示

気候変動に対する取り組みにおいて、従業員の健康管理も考慮して、取り組みに工夫を。
工事評価の向上は、環境配慮の成果でもあり、従業員の意識向上の表れといえる。
環境活動の取り組みが、会社全体で自然に行動できるようになってきていると思われる。

エコアクション21

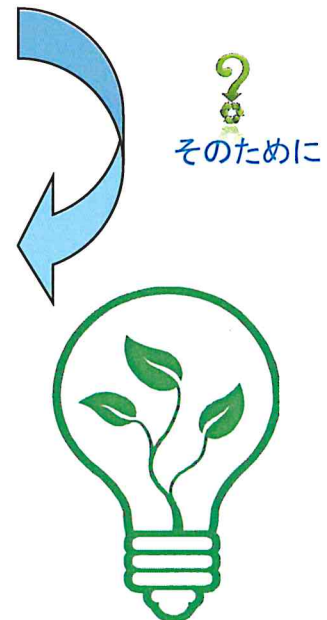
緑の地球を保つために



- ・ 二酸化炭素（CO2）排出量を**減**らします。
- ・ 電気使用量を**削減**します。
- ・ 3Rを**推進**します。

（リデュース）ごみを減らす
（リユース）繰り返し使う
（リサイクル）資源として再利用

- ・ 車のアイドリングは必要最小限に！
- ・ **急ブレーキ・急加速**はしない。
- ・ 不在時、休憩時の電気の**OFF**。
- ・ エアコンの**設定温度**を守る。
- ・ グリーン購入適合品を選ぶ。
- ・ **分別をきちんと**する。
- ・ リサイクルに出せるもの（資源ごみ）を増やす。
- ・ 使えるものは、最後まで使う。（**物を大切に**にする）



当社は、地球環境を深く認識し、社業である建設（土木）工事の事業活動において、より環境に負担を与えない意識を持続させ、継続的な環境保全に取り組みます。

そのゴミの分別



正しい……？